

マススクリーニングで発見された先天代謝 異常患児フォローアップについて

住 吉 好 雄
(横浜市愛児センター)

研 究 目 的

マススクリーニングで発見され治療を受けた患児がどのようにフォローアップされているかについて先進諸外国の状況を調査し、今後わが国でいかにすべきかの参考にすると同時にわが国の実情を把握するため調査を行った。

調 査 方 法

世界28ヶ国、検査センターにアンケートを依頼しその結果を集計した。次いでわが国の45検査センターにアンケートを依頼した。

調 査 結 果

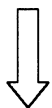
先天代謝異常疾患のスクリーニングを行っている24ヶ国の中19ヶ国(79%)が発見治療した患児の登録システムがあると回答している。ただしアメリカでは州によって事情が異なり回答のあった20センターの中登録システムありが10センター、なしが10センターと半々である。次にmaternal PKU に対して特殊な検査をしているかと云う質問に対し、していると答えた国が24ヶ国の中オーストラリア、オーストリア、カナダ、英国、東ドイツ、イスラエル、ニュージーランド、米国の8ヶ国(33%)であった。これらの中もっとも多いのがPKUで治療を受けた患児が生殖年齢に到達したらカウンセリングを行って、妊娠中低フェニールアラニン食を与えるというのがもっとも多い方法であった。カナダの一地区では妊婦初期検査にPKUを加えているところもある。

わが国の45検査センターへのアンケートの中回答の得られたのは39センター(86.6%)で、フェニルケトン尿症84名は精検病院が判明した。今後PKU患児が生殖年齢に達するまでに先進諸国のように地域毎に登録システムを作りカウンセリングを行えるよう努力することが大切と考えられ今後ぜひとも本研究を続けて行かねばならない。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



研究目的

マスキングで発見され治療を受けた患児がどのようにフォローアップされているかについて先進諸外国の状況を調査し、今後わが国でいかにすべきかの参考にすると同時にわが国の実情を把握するため調査を行った。